2026 年 11 月 17 日
株式会社 AppGuard
株式会社 AppGuard ジャパン

AppGuard、Linux サーバー向けエンドポイントセキュリティ「AppGuard Server Linux」を提供開始

～サポート終了後も使い続ける Linux サーバーを、検知に頼らない防御で守る～

株式会社 AppGuard（本社：東京都港区、代表取締役社長：坂尻浩孝）および株式会社 AppGuard ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役：鬼澤禎）は Linux サーバー向けエンドポイントセキュリティ「AppGuard Server Linux」（以下、AGS Linux）の提供開始をいたします。

受注開始は 2027 年 4 月を予定しており、これに先駆け、国内企業を対象とした「Early Adopter Program」を 2026 年 12 月 1 日より実施いたします。

■開発の背景

基幹系や制御系のシステムでは、アプリケーションの互換性や改修コストの問題から、OS のサポートが終了した後も Linux サーバーを使い続けざるを得ないケースが少なくありません。こうしたサーバーにはセキュリティパッチが提供されず、既知・未知の脆弱性を突いた攻撃やランサムウェアの標的となるリスクを抱えています。

一方、攻撃を「検知して排除・駆除」する従来型の対策は、新種の攻撃への対応が後手に回りやすく、新たな脆弱性や脅威を追い続ける担当者の運用負荷も増大しています。

当社はこれまで、Windows 向けに「AppGuard」を提供してまいりましたが、多くのお客様から Linux 環境への対応を求めるご要望をいただき、AGS Linux の開発を進めてまいりました。

■ AppGuard Server Linux の概要と特長

AGS Linux は、OS を「要塞化」してサイバー攻撃を成立させない AppGuard の特許技術を Linux サーバーへ展開する製品です。攻撃を検知して排除するのではなく、不正な動作そのものを制御することで、マルウェア、脆弱性の悪用、正規ツールの悪用、ランサムウェアからサーバーを保護します。

主な機能

Windows 版 AppGuard と同様に、実行されるすべての命令に対し「正当で安全かどうか」をリアルタイムに検証し、起動制御・行動制御・領域制御の 3 つの制御によりサーバーを保護しま

す。各機能の詳細については、当社 Web サイト（https://www.appguard.co.jp/products）をご覧ください。

※AGS Linux の機能やシステム要件などについては当社までお問い合わせください

AppGuard が選ばれる 4 つの理由

- **業務を停止させない**　：攻撃を事前にブロックし、システムを止めずに業務を継続できます。
- **未知のウイルスにも効果を発揮**　：怪しい動きを止めることで、新種のウイルスにも対応します。
- **更新できないサーバーを守れる**　：更新できない古い OS のサーバーも、保護できます。
- **担当者の負担を軽くできる**　：新たな脆弱性や脅威を急いで追いかけ続ける必要がありません。

■Early Adopter Program（EAP）の概要

Early Adopter Program（EAP）は、一般販売に先駆けてお客様・パートナー様の検証環境で AGS Linux をご利用いただき、さまざまな環境での適用性を確認するとともに、いただいたご意見を製品に反映するためのプログラムです。Linux は、カーネルを含む多くのソフトウェアがオープンソースで構成され、利用環境に合わせてカスタマイズできる自由度の高い OS であるため、お客様の環境ごとに適用性を確認することが重要です。

・実施期間：2026 年 12 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（予定）

・対象　　：国内企業（パートナー企業を含む）、先着 5 社

・対象環境：Red Hat Enterprise Linux 6.10 または CentOS 6.10 を搭載した検証環境

・参加費　：原則無償（一部、参加者様のご負担となる場合があります）

・参加条件：事前チェックシートによる対象環境の確認、秘密保持契約・合意書・覚書の締結、実施期間中のヒアリングおよび終了後のアンケートへのご協力

※EAP への参加をご希望の方は、当社までお問い合わせください。

■対応環境

対象 OS は、Red Hat Enterprise Linux/CentOS 6 および Red Hat Enterprise Linux/CentOS 7 です。対応環境については、Early Adopter Program をはじめとするお客様からのご意見を反映し、今後順次拡張していく予定です。AGS Linux を導入するためのシステム要件等については、当社までお問い合わせください。

■代表取締役社長 坂尻 浩孝のコメント

サポートが終了しても業務上止められない Linux サーバーは、多くの企業にとって最も守りにくく、かつ守るべき「本丸」です。AGS Linux により、攻撃を成立させない AppGuard の「要塞化」の防御を Linux 環境にもお届けします。Early Adopter Program を通じてお客様・パートナー様とともに製品を磨き上げ、確かな安心をお届けしてまいります。

■株式会社 AppGuard 会社概要

会社名	株式会社 AppGuard（旧：株式会社 Blue Planet-works）
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-21 虎ノ門 33 森ビル 2 階
設立	2017 年 4 月
資本金	87 億円（2026 年 1 月現在）
代表者	代表取締役会長 片地 格人 ／ 代表取締役社長 坂尻 浩孝
グループ会社	株式会社 AppGuard ジャパン（国内事業統括）、AppGuard, Inc.（研究開発、欧米営業）
事業内容	「AppGuard」の技術を応用したサイバーセキュリティプロダクトの開発・販売及び付帯サービスの提供
公式 Web サイト	https://www.appguard.co.jp/

株式会社 AppGuard は「テクノロジーと知性の力で世界に安心（ANSHIN）を届ける」をパーパス（存在意義）に掲げ、OS を「要塞化」しサイバー攻撃を成立させない革新的な「AppGuard」テクノロジーをベースとした製品及びサービスを提供する国産のグローバル・サイバーセキュリティー・カンパニーです。米国政府機関向けに開発された技術を核に、「真の知性あるサイバー防御をすべての人とモノへ」届けることを使命としています。

製品に関するお問い合わせ：
株式会社 AppGuard　TEL：03-6825-1891　https://www.appguard.co.jp/contact